

広報 しばた

1

2013 JANUARY
No. 615 since 1961



New Year, 2013

新年号

い、ほ、ろ、あ、は、

大きく羽を広げるオオハクチョウ (白石川)



柴田町長 滝口 茂
Shigeru Takiguchi

将来を見据えた

魅力的な町の創造

2013年 新年のごあいさつ

今年で東日本大震災から2年目の春を迎えることとなります。被災した沿岸部の方々の生活再建やふるさとの再生に向けた取り組みがやっと本格化してきました。

町も震災後の復旧に全力を挙げてきた結果、おおむね7〜8割まで回復することができました。まち中でも、改めて町の住み良さが評価されたこともあって、随所でミニ宅地開発が行われ、人口が増加しています。また、新たな企業の立地の動きも出ています。

さらに、昨年度は、市街地整備の一環として、北船岡町営住

宅2号棟の完成や社会資本総合整備計画に位置付けられた（仮称）さくら連絡橋に係る実施設計、船岡新栄4号公園の整備を行いました。幹線道路の整備としては、富沢16号線の用地買収や四日市場1号線、上名生3号線の工事も順調に推移しました。学校関係では、槻木小学校の大規模改修が終わり、槻木中学校がまもなく完成します。

福祉関係では、交通弱者といわれる方々の利便な足として、デマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」を運行し、利用者から大変喜ばれています。

このように、財政が少し好転したこともあり、さまざまな事業に取り組みことができました。しかし、町を取り巻く環境は、中長期的な視点で見れば、安心

できる状況にはありません。なぜなら、我が国は現在、世界に類を見ない少子高齢化社会に突入しているからです。これまで4人で1人の高齢者を支えていましたが、2050年には、1人で1人の高齢者を支える肩車社会になってしまいます。町にとつては、人口が減れば当然、税収も減ってきます。一方で高齢者が増えれば、年金、医療、介護に係る負担が増えます。増えつつも改善するためには、経済の成長発展を図り、配分するパイを大きくしていくしか道はありません。

今年の町の最大の課題は、いかにして経済の成長発展への道筋を付けていくかだと考えています。

その具体的な戦略とは、都市基盤を整備し、地域産業の振興を図ることです。さらに、一人の力を結集して「花のまち柴田」の魅力を高め、全国に情報発信できる力を蓄えることです。そうした考え方を基に、今年の町政を運営してまいります。

一、「花のまち柴田」の推進

私たちの町の誇れるところといえば、なんといっても自然景観や農村風景の美しさです。

船岡城址公園や太陽の村の桜、里山ハイキングコースの魅力を引き出し、観光地としての集客力を高めるとともに、住民による「おもてなしの心」を育み、花を通じて人と人との交流を活性化させます。今年も船岡城址公園のバリアフリー化を行い、歩きやすい遊歩道を整備するとともに、（仮称）さくら連絡橋の工事に着手します。また、好評だった「しばたB級グルメフェスティバル」や「しばた柚子フェア」を支援するほか、秋には船岡城址公園で「第1回彼岸花まつり」を開催する予定です。

町の人気キャラクター「はなみちゃん」を先頭に、プロモーション活動を積極的に展開し、観光まちづくりを進めます。

また、美しい農村風景を今後にも守っていくためには、農業や農村が元気でなければなりません。農ある暮らしを継続できるように、ほ場整備事業計画の策定や花き生産販売戦略対策事業、地産地消推進野菜周年栽培施設

補助事業を創設して、やる気ある農業者や集落を支援します。

二、誰もが安全安心に暮らせるまちづくり

想定を越えた自然災害や交通事故の発生、さらに、閉塞感漂う社会の中で、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりを進めることは、喫緊の課題です。

自然災害に対しては、鷺沼排水路の詳細設計と用地買収を実施するとともに、下流から一部工事に着手します。さらに、局地的な水害対策としては、船岡西、太陽の村入口、槻木生涯学習センター南側、船迫生涯学習センター付近の地下道などの改修に努めます。

しかし、自然災害に対する抜本的な対策には相当な時間が掛かりますので、その間の対策として、「新たに「災害見舞金制度」を創設します。

安全で快適な道路や公園を整備するために、引き続き船岡東43号線の延伸や富沢16号線、槻木72号線の一部工事に着手します。また、新栄5号公園については、ワークショップを開催して整備を進めます。

安心できる子育て支援策としては、中学3年生までの通院と入院に係る医療費を無料にするほか、安全で快適な学校とするために、船迫小学校の大規模改造工事を継続し、新たに槻木中学校校庭の整備に着手します。

三、都市施設の整備促進

今後、コンパクトシティを実現する上で必要となるのが、スポーツ文化施設、子育て支援施設などです。これらは、都市の標準装備とも言われ、都市の成長発展には欠かせない施設です。建設に向けては、多くの町民の方々の意見を踏まえた上で、(仮称)船迫こどもセンターの実施設計を行うとともに、不二トッコン跡地に整備する防災拠点施設(総合体育館)の基本計画を策定します。さらに、本格的な図書館の建設については、引き続き、図書館研究会で検討します。

こうした都市施設については、自然景観に溶け込み、町のシンボル施設となるようなデザインを考え、子どもたちにも誇りを感じられるよう整備してまいります。

四、地域コミュニティの再構築

東日本大震災から学んだことは、地域の「絆」の大切さでした。いざという時に、すぐに大きな力を発揮するのが、地域のコミュニティです。

町では、住民参加と自治活動の実践を通じて、地域コミュニティの再構築を図るために、地域計画の策定を進めています。この計画は、地域の現状と課題を把握し、区民の話し合いにより、地域の将来目標を掲げ、行政との役割分担を明らかにし

た上で、みんなで住み良い地域づくりを目指すための基本となるものです。

新たに「地域づくり補助金制度」を創設して、地域における多様な活動を支援し、地域の方々がお互いに支え、また支えられる関係を築いていきたいと考えています。

最後に、町が町民と共に時代の閉塞感を打破し、明るい未来を切り拓いていくためには、全国から一目置かれる先進自治体に脱皮していくことが必要だと考えています。そのためには、地域の自然や

歴史や文化に学び、それをまちづくりに生かす独自の政策を打ち出していくことが重要です。「いいまちをつくりたい」という一人一人の思いこそが、魅力的な街を創り出す原動力になるので、他人の力をあてにせず「自分たちのまちは自分たちでつくる」という気概を持ち、町の将来を見据えた想像力をたくましくし、自由な発想と創造力をもって「花のまち柴田」の名声を高めていきたいと思っております。

今年も、どうぞよろしくお願いたします。

今年、完成・継続および新規に着手する主な事業

■完成する主なもの

- 上名生3号線・四日市場1号線(平成25年3月)
- 船岡新栄4号公園(平成25年3月)
- 槻木中学校校舎改築工事(平成25年3月)
- 船迫小学校大規模改造工事(平成25年12月)

■継続中のもの

- デマンド型乗合タクシーの運行(平成24年～)
- 船岡東43号線(平成23年～平成26年)
- 富沢16号線(平成22年～平成28年)
- (仮称)さくら連絡橋の整備(平成24年～平成26年)
- 鷺沼排水区雨水対策事業(平成24年～)
- 白石川堤外地環境整備(平成24年～平成26年)
- 農業施設再生支援事業(平成23年～)
- 集落営農水田担い手対策事業(平成23年～)
- 鉢花ブランド化推進事業(平成23年～)
- 放射性物質の吸収抑制対策事業(平成24年～平成26年)
- 農地・水保全管理支払交付金事業(平成24年～平成28年)
- (仮称)子ども総合センター建設事業(平成24年～)

■新規に着手する主なもの

- 地域計画に基づく「地域づくり補助金制度」(平成25年4月)
- 後期基本計画策定基礎調査事業(平成25年～平成26年)
- 防災拠点施設(総合体育館)基本計画策定(平成25年～平成26年)
- 船岡新栄5号公園整備(平成25年)
- 槻木中学校校庭整備工事(平成25年9月頃)
- 花き生産販売戦略対策事業(平成25年～)
- ほ場整備事業基本計画業務(平成25年～平成27年)
- 地産地消推進野菜周年栽培施設補助事業(平成25年～平成27年)
- 子ども医療費助成枠の拡大(平成25年10月)



〔仮称〕さくら連絡橋の建設の是非を問う 柴田町住民投票条例を否決

12月10日から14日にかけて、平成24年柴田町議会第4回定例会が開かれ、住民代表3人から直接請求のあった、〔仮称〕さくら連絡橋の建設の是非を問う住民投票条例案が13日に上程され、慎重な審議の結果否決されました。

〔仮称〕さくら連絡橋の建設は、一目千本桜と船岡城址公園の桜の2カ所の花見の名所を「花回廊」として結び、その相乗効果によっては年間30万人の観光客の集客を図るものです。市街地整備や観光まちづくりを通じて、地域の活性化を目指す計画として、国の社会資本総合整備計画の採択を受けたもので、国の交付金を活用して、〔仮称〕さくら連絡橋整備事業をはじめ、船岡城址公園のバリアフリー化、船岡新栄4号・5号・6号公園の整備、都市公園施設の長寿命化計画、歴史観光ガイドの育成事業などを一つのパッケージ事業として実施するものです。すでに平成27年度までの5カ年事業として事業が進行しています。

しかし、11月22日に〔仮称〕さくら連絡橋の建設の是非を問う柴田町住民投票条例の制定を求める直接請求が「さくら連絡橋を考える会」の住民代表3人から、地方自治法第74条の規定に基づき、2527人の連署を添えてなされました。これに対して、町では12月10日に町長の意見書を付けて町議会に条例案を付議しました。12月13日の本会議では、町長と条例制定請求者の意見陳述が行われました。

その後、条例案については町議会議員による質疑を経て、賛成討論、反対討論が行われるなど、慎重に審議した結果、最終的に賛成6、反対10の反対多数で否決されました。

住民投票条例制定請求の要旨

本来、地方自治体のあり方は選挙によって選ばれた自治体の長と地方自治議会議員によって営まれる間接民主制にある。これは住民の幸福を希求するために両者に住民が費用を税金と

して負担しながら信託する制度と見られる。しかし、その信託関係が

損なわれた時、住民は主権者としての意思を表明し、信託関係を正さなければならぬ。それが住民（納税者）の権利であり義務でもある。この観点から（仮称）さ

くら連絡橋建設問題を考える時、次のような疑義が生じている。

①（仮称）さくら連絡橋は本来に住民の望んでいる工事であるのか。
②未曾有の災害「東日本大震災」の復旧・復興の真つただ中であつてこの橋の建設が倫理的、財政的に認め

られるのか。
③白石川堤防の桜は樹齢80年を超えた老木であり、柴田町民だけでなく近隣町村の共有財産でもある。その桜を伐採してまで造る価値がある橋なのか。

これらの疑義を解消するためには住民自身の判断を示さなければならない。住民と自治体の長及び協議会議員との間に認識の乖離が認められる中、私たちは住民の意思の確認をし、信託関係を正すため本条例の制定を請求するものである。

※請求書の内容をそのまま掲載しています。

町長の意見書

地方自治法第74条に基づく住民投票条例制定に係る今回の直接請求については、事実誤認や一方的な論理の展開に基づくものであり、改めて、さくら連絡橋に関する町民への周知の経緯や町民の意思の反映状況、さ

らに、議会での審議経過を明らかにした上で、次の点に問題点があることを指摘します。

①さくら連絡橋を含む社会资本総合整備計画は、柴田町の成長発展に有効な計画であること
②従来にも増した情報の提供と町民の声の反映に努めたこと

③住民投票に委ねるまでの重大案件とは受けとめていない町民が多かったこと
④議会の議決手続に瑕疵はなく、法律上の効力が発生し、事実関係が積み重ねられていくこと

住民投票は、町政や議会において抜き差しならない対立や混乱がある場合や、柴田町の根幹を揺るがす重大な局面で、最終的に主権者である町民の声を聞く必要がある場合に実施すべきであると考えます。よって、本条例の制定は必要ないと

（仮称）さくら連絡橋の建設の是非を問う 柴田町住民投票条例制定を求める直接請求の経緯

| 月 日 | 内 容 |
|------------------|---|
| 9月27日 | 条例制定請求代表者（3人）から条例制定請求代表者証明書の交付申請 |
| 9月28日 | 町長は、条例制定請求代表者が柴田町選挙人名簿に登録されていることを確認し、条例制定請求代表者証明書を交付 |
| 9月28日 ～10月28日 | 条例制定請求代表者による、（仮称）さくら連絡橋の建設の是非を問う柴田町住民投票条例制定を求める署名収集 |
| 10月31日 | 条例制定請求代表者から選挙管理委員会に署名簿の提出※ |
| 11月14日 | 選挙管理委員会で署名簿の審査が終了 ・署名数 2,761人（有権者の8.74%） ・有効署名数 2,527人（有権者の8.00%） |
| 11月15日 ～21日 | 署名簿の縦覧（7日間） ・縦覧場所 役場2階「第1会議室」 |
| 11月21日 | 選挙管理委員会は、署名簿の縦覧期間中に異議の申出がなかったため、署名簿を条例制定請求代表者へ返付 |
| 11月22日 | 条例制定請求代表者より町長に署名簿を添えて、条例制定請求書の提出 |

※この署名簿とは別に同日、「柴田町の未来を考える会」から町長に建設推進署名（5,040人）の提出。

条例制定の直接請求制度って何？

地方自治法第74条の規定に基づいて、住民が有権者の50分の1の署名（今回の請求の場合は、9月の選挙人名簿登録者31,587人のうち632人の署名が必要）をもって、条例の制定や改廃を町長に請求できる制度です。

請求が有効な場合は、町長が住民から提出された条例案に意見を付けて、議会に付議することとされています。

大人の女性力アップ講座

町の男女共同参画推進事業に貢献していただいた「輝くしばた男女共同ネットワーク」が10年間の活動に終止符を打ったのが今年の3月。次代を担う若い世代の女性リーダーの育成のために、「大人の女性力アップ講座」が10月24日、11月7日、14日に実施されました。

なぜこれが男女共同参画推進事業？

この講座には30歳代から60歳代までの女性、12人が参加しました。

内容は「骨盤体操講座」「デジカメテクニック基礎講座」「コミュニケーション力を磨いて魅力アップ」の3本立てです。なぜこの内容が男女共同参画推進事業なのか？と疑問に思う方もいるかもしれませんが、「堅苦しい」「男女共同参画推進は重要な施策ですが、「難しい」

「堅苦しい」といった印象

この講座には30歳代から60歳代までの女性、12人が参加しました。

内容を「骨盤体操講座」「デジカメテクニック基礎講座」「コミュニケーション力を磨いて魅力アップ」の3本立てです。なぜこの内容が男女共同参画推進事業なのか？と疑問に思う方もいるかもしれませんが、「堅苦しい」「男女共同参画推進は重要な施策ですが、「難しい」

デジカメテクニック基礎講座

日頃、女性は子育てや家事、仕事に追われ、なかなか自分だけの趣味の時間が持てないものです。その皆さんに、写真の楽しさ、奥深さを学んでもらいながら、デジタルカメラを通して、柴田町の魅力を発見してもらいました。



時々英語も交えた講義に。



何を伝えたいかによって写真の撮り方は変わります。

講師は、スイス人の写真家、キース・ヴィイスさん。来日して2年5カ月、町内の学校で外国語指導助手として働いた経験もあります。デジタルカメラの機能や被写体の効果的なたらえ方などを学んだ後、船岡城址公園で「秋の柴田町」をテーマに写真撮影を実施しました。

受講者の皆さんが撮影した写真は、講師のキースさんの写真とともに、1月22日から2月3日まで、まちづくり推進センター（ゆる・ぶら）で展示されます。力作ぞろいの作品が展示されますので、ぜひご覧ください。



受講者撮影：スマートフォンで撮影した1枚。



受講者撮影：被写体のとらえ方が見事です。



受講者撮影：影の長さが秋をイメージさせます。

次代を担う女性が、大人の女性力を磨き上げ

～男女共同参画推進事業～

骨盤体操講座

女性が生き生きと活躍するためには、体が健康であることが基本です。しかし、女性特有の病気や出産、子育てによる負担で健康を損ねてしまう女性も多く存在します。

骨盤は、上半身と下半身をつなぐ体の要です。骨盤のゆがみを直すと、股関節の動きも良くなり、肩こり、腰痛、膝痛などが和らぐことや代謝も上がってダイエット効果も期待できるようです。

講師の骨盤体操インストラクター藤原寛子さんの指導を受けながら、受講者の皆さんもさまざまな動きに挑戦しました。



ホネホネTシャツで体の仕組みを勉強



ウエストが細くなる運動に、皆さん真剣です。

コミュニケーション力を磨いて魅力アップ

講師は、仙台市議会議員のひぐちのりこさん。ひぐちさんは「ノルウェーに学ぶ会」に所属し、男女共同参画に関する活動を実践されています。

この講座では、ノルウェー労働党が作った女性リーダー養成テキスト「Woman can do it!」を用いて行われました。コミュニケーション成功の鍵は「聞く力」と「話す力」であり、「聞いていることを相手に伝える」「反論や価値判断をしない」などの聞くポイントや原稿を準備する、見せ方に注意して自分らしく話すことなどのポイントを講義されました。

最後は、参加者一人ひとりが「私の楽しい時間(とき)」と題して3分間のスピーチをして、聞き手が良いと思ったところを紙に書いて話し手に渡すという作業を行いました。

ひぐちさんは「女性はもっと自分に自信を持って、さまざまな機会、場所に積極的に参画してほしい」と話します。「Woman can do it!」の一節には、「女性はいろいろ



皆さん堂々とスピーチをしています。



ひぐち先生は、ピンクのジャケットがとてもお似合いです。人は見た目が9割とのこと。第一印象は大事です。

いろいろなことができ、高い技能を持つているのに、その知識や技能を持っていることを気づいてもられないということが、しばしばあるように思われます。これは確固たる自信を持ってない女性、自分という人間をほとんど信用していない女性が、あまりにも多いせいです。」とあります。皆さんはどのように考えますか？

参加者の声

- 自分では分からないことを見ていただいたので、コミュニケーション力アップ講座が一番良かったです。
- 託児をお願いできたことで、リフレッシュというか、気分アップできました。
- せっかくの機会、もう少し人が集まればいいのに、もったいない気がしました。
- 初めて人前でのスピーチを経験して、緊張感満点で面白かったです。船岡城址公園縦ノ木は残った展望デッキにて





カメラルポ
2012

メタセコイアの奇跡！ 光り輝け槻木駅

12月8日(土)
～1月12日(土)



遠藤・加藤邸(槻木)





船岡城址公園山頂



白石川河川敷に浮かぶ光の文字



船岡駅前広場

12月1日(土)
～ 25日(火)

しばた光の ページェント



冬のしばたを彩る 光のファンタジー

柴田のまち中に、
キラキラと輝くイルミネーションの光は、
忙しく行き交う人々の足を止めて、
心を癒すひと時をくれました。



庄司邸(船岡土手内)

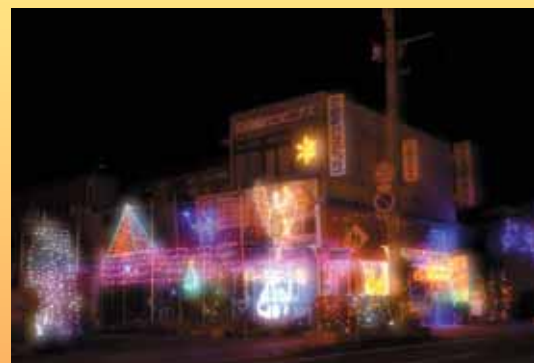


日下・清野・佐藤

店先や個人宅のお
庭などにもイルミ
ネーションが飾り
付けられ、きれい
な光に彩られてい
ました。



火の見やぐら(上川名地区のみなさん)



ハウピングベーカリー(船岡中央)



長谷川邸(東船迫)



高齢者が安心してらせるまちづくり

～冬の過ごし方～

高齢者の皆さんへ、冬の暮らしに気をつけていただきたい情報をお届けします。

脱水症に注意

体温調節の機能が衰える高齢者にとっては、熱中症の心配がある夏の過ごし方に注目されがちですが、水分を摂る機会の少ない寒い冬も、脱水症の心配は同じです。

夏場に水をゴクゴクと飲むようには飲めないこの時期、風邪の予防にもなるので、こまめにお茶を飲むことをお勧めします。

転倒に注意

凍った道路や雪道で転ぶことを想像するかもしれませんが、せんが、高齢者の転倒は、屋外より屋内でよく起きているのです。

特に、冬場はこたつやストーブが加わり、それぞれの電気コードと暖かい敷物で部屋が狭くなります。それに加え、洋服が厚着になるだけでなく、靴下やス

リッパも厚手のものに衣替えするため、体の動きや足の裏の感覚が鈍くなってしまう。

床に落ちた物をとつさに拾おうとしたとき、電話に急いで出ようとした時など、普段のいつもの動作の中にも危険が潜んでいるのです。

生活不活発病に注意

震災後、「生活不活発病」という言葉を聞いたことがあるかと思えます。「動かない」から「動かなく」なり筋力が弱くなるなど、体のはたらきだけではなく、頭のはたらきや心のありようも弱ってしまうことがあります。

外出の機会や体を動かすことが少なく、暖かいこたつの中で過ごす時間が増えるこの時期は、「生活不活発病」を引き起こす可能性があります。

座ったままでも、体を動かすことを意識しましょう。

活き活き高齢者紹介

昨年の11月17日に行われた「第6回柴田町介護予防推進大会」で最高齢の97歳の発表メンバー川口三男さん。



「朝の会」の皆さんと毎日続けているストレッチ体操を披露。バランス姿勢もなかなかのものです。



ご相談・お問い合わせはこちら

- 柴田町地域包括支援センター ☎86-3340
- 槻木地域包括支援センター ☎56-5764
- 柴田町福祉課 ☎55-2159



柴田町図書館

からのお知らせ

みんなの図書館

1月の特集

「本屋大賞」受賞作を読んでみよう!



“書店員が一番売りたい本（日本の小説）”をキャッチコピーに掲げ、全国の書店員の投票でノミネート作品や受賞作が決定されるのが『本屋大賞』。2004年から始まったこの賞の受賞作品は、その後すべて映画化・TVドラマ化されるなど、メディアミックスされている人気小説ばかり。

今月の特集コーナーは、この本屋大賞受賞作を勢揃いさせました。まだ読んでいない作品があれば、この機会にお手にとってみてください。

1月のお話し会

第2～4土曜日の開催です

日時／1月12日、19日、26日の土曜日

11:00～12:00 ※事前の申し込みは必要ありません。

場所／柴田町図書館（ふるさと文化伝承館1階奥の「集会室1」）

協力／絵本読み聞かせの会「おむすびころりん」

図書館サポート委員会「ひよこちゃん」ほか

柴田町図書館（しばたの郷土館・ふるさと文化伝承館内）

☎ 86-3820 FAX86-3821 Eメール :library@town.shibata.miyagi.jp

柴田町図書館「1月」の休館日

※太字が休館日です

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

開館時間

平日 10:00～19:00

土・日曜日、祝日 10:00～17:00

シリーズ 8

地元の食材を使った懐かしい料理を食べに来て

農村レストラン 縄文の幸

上川名地区活性化推進組合(平間) TEL56-1093

しばたの農産物 de 地産地消

農村レストラン 縄文の幸
〒985-0201 柴田町 鹿島神社 花名川寺
機木小学校 東北本線

平成24年2月、上川名地区の住民でつくる「上川名地区活性化推進組合（26人）」の女性メンバー5人が力を合わせて、農村レストランをオープンしました。

この地区では、6月にホテル観賞ができ、また、県指定史跡の「富沢磨崖仏群」や上川名自塚を散策できる里山ハイキングコースがあります。「上川名地区の自然や史跡を訪れた人が、レストランを利用することで、地域の活性化を目指したい」と話す代表の大沼さん。

レストランでは、一面に広がる水田と蔵王連峰が望め、農村風景を目で楽しみながら、ゆったりと地元食材をふんだんに使った郷土料理がいただけます。

おすすめメニュー

- 餅御膳 1000円
- 宴会 1人1500円

郷土料理を中心とした内容です。

※ランチ・宴会は10人以上で予約が必要です。

- お弁当（20個以上） 500円

場所 大字上川名字館山67-3
(上川名構造改善センター)

営業時間 (完全予約制)
午前11時～午後2時

※宴会は午後9時まで(最大3時間)

広告

広告

まちかど NEWS



子育てサポーターさんによる出し物



目を輝かせて出し物に夢中!

手作りコンサートでにこにこ笑顔

12月14日、子育て支援センターで120人の親子が参加して、るんるんコンサートが行われました。コンサートは、職員と子育てサポーターさんによる手作りで行われ、クリスマスにちなんだピアノの演奏やダンスのほか、はらぺこおむしのパネルシアターなどの出し物で盛り上がりました。参加した子どもたちには、サポーターさん手作りのサンタの形の馬拉カスなどがプレゼントされました。

熱戦! 行政区対抗の玉入れ大会

町民の健康づくりと地域の絆を深めるため、第1回柴田町行政区対抗玉入れ大会が、11月23日に船岡小学校体育館で開催されました。この競技は1チーム6人で、1分間以内にアジャタボール100個をバスケットに入れるまでのタイムを競うスポーツです。行政区対抗ということで、会場内には大きな声援が響きました。参加者からは「正式な玉入れ競技で、とても楽しい」と感想がありました。

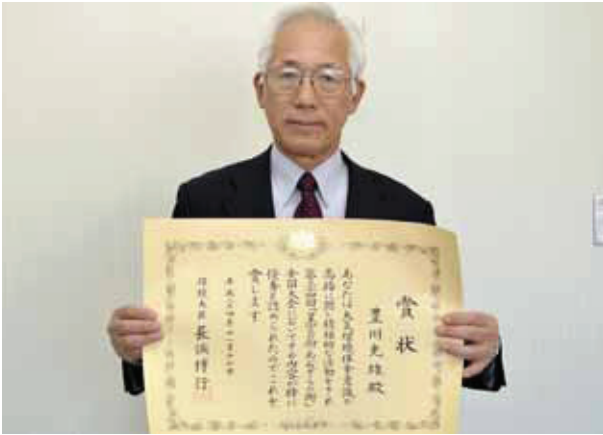


60歳以上シニアの部 優勝 ・新小路チーム (6A区)
20歳以上フリーの部 優勝 ・12Aチーム (12A区)

広 告

「青い空と輝く星空を未来に約束」環境大臣表彰

大気環境保全への啓発・普及や全国星空継続観察で優れた活動を行ったとして、柴田町星を見る会代表の豊川光雄さんが環境大臣賞に選ばれ、11月17日、18日に開催された第24回星空の街・あおぞらの街全国大会で表彰されました。豊川さんは、長年にわたり全国星空継続観察の実施・指導や天体観察会、講演活動を通して大気環境保全の啓発・普及に努めており、この活動が表彰につながりました。



表彰された豊川さん

母と子が共に虫歯なし・宮城県知事賞受賞

「全身の健康は、歯の健康管理から」の予防意識を県民に呼び掛ける「宮城県歯つらつファミリーコンクール」(宮城県、社団法人宮城県歯科医師会主催)で、岩永亜希子さん・季歩さん(船岡)、佐藤亜由美さん・結南さん(船岡)親子2組が宮城県知事賞を授賞し、佐藤さん親子が12月11日に町長へ報告に訪れました。夜の歯みがきには時間を掛けるという佐藤さん親子、とても笑顔がすてきです。



受賞した佐藤亜由美さん(左)と結南さん(右)

里山史跡めぐり&そば打ち体験

12月2日、仙台市内の仮設住宅にお住まいの方々を対象に、柴田町の自然、文化、人々とのふれあいを通し交流を深めていただく「グリーン・ツーリズムモニターツアー」が行われました。参加者の皆さんは富沢磨崖仏群、富上分校、円龍寺薬師如来立像・十神将、思源閣・茶室如心庵、船岡城址公園などをめぐりました。昼には太陽の村で、そば打ち体験をして交流を深めました。



そば屋の気分でそば打ちを楽しむ参加者の皆さん

広 告

広 告

俳句

北風を舳先に受けて観光船

中野西範子

新しい娘の家に小春賜る

石垣テル子

風花にしばし心をもてあそぶ

制野 千秋

鳶は輪を大きく描き神送る

遊佐 徹

四度Cの水の重たき十二月

山家美智子

めざましは窓を打つ風冬の朝

三塚 直樹

あれこれと読み上げただけ師走かな

若月ノリ子

毛糸編む過ぎ来し日々を惜しみつつ

藤原 恪子

柿たわわ空の青さを深めおり

及川美沙子

聖樹の灯真つ先揺れて夜の地震

佐藤きみこ

夜の雪夕鶴物語いま佳境

槻木 永井 堯

痛いほど柏手打手初詣で

大槻 信吉

初夢や孫からもらうポチ袋

本船迫 森田 眞六

風花のあそぶ廻廊わたりけり

下名生 笠松フミコ

山茶花や天の青にも冴え冴えと

槻木 大泉かずえ

単独できめた決断度胸よき

槻木 加藤 利通

挨拶をかわず笑顔がすばらしい

槻木 加藤 マサ

時雨時夕暮早く急ぐ足

船岡 伊藤タイ子

川柳

晩酌の節制誓う八十路坂

四日市場 坂本 一風

追憶の海押し上げる初日の出

四日市場 斎藤夢太郎

北風に落ち葉舞い散る庭掃除

上名生 西村 久子

踏ん張って無事に一年納め笑む

船岡 小野寺一彩

部下のミス胸三寸に納め置く

船岡 佐藤 春市

嫌なこと胸に納めて家円か

船岡 鈴木 智子

ゴミ置場鴉が先に下見する

船岡 萩原 善助

国防へ鳴かず飛ばさずの第九条

船岡 島貫よし雄

すずめ達おしやべりはすむ屋根の上

船岡 安藤 節子

バス旅行心もはずむ道の駅

船岡 阿部美代子

我慢して政治不信も不景気も

西船迫 渡辺 晴奈

おまえもた出禁オスブレイ

船岡 水戸 貞夫

短歌

似ています民草の血で生きた道 赤字国債建設国債

葦神 葛

紅葉を湖面に映し水鳥や さざ波立てつ山あひ静か

船岡 柄目けい子

ストーブの炎見つめて無心なる 幻のごとき過ぎし日思う

船岡 沢田 順子

広 告

広 告

広 告



夢空間 2013



女王の番犬
(ペンネーム)



天野おすし
(ペンネーム)



花ちゃん
(ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「くわがたとペンダント」

東船岡小学校1年

堀内飛呂さん



「夕焼けの中で」

東船岡小学校6年

庄司うみ海さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とても素敵な方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2013)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで1月14日(月)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

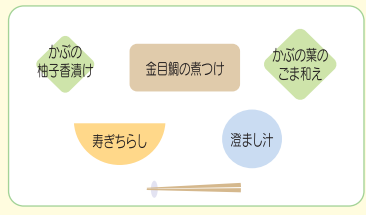
広 告



柴田町食生活改善推進員連絡協議会の
Cooking Recipe レシピ
しみじみ味わう、新春の味



新しい年が明けました。ゆく年に感謝し、元気にまめに達者で暮らせるよう願っておせち料理を家族そろって頂きましょう。今回はおせち料理の残りを無駄なく活用した、お祝の品をご紹介します。



寿(とほ)ぎちらし
一人あたり:488Kcal、塩分1g

- 材料(4人分)**
- 煮しめ(ニンジン、ゴボウ、シイタケ、こんにゃく)…各80g
 - れんこんの旨煮…40g ●かまぼこ…40g ●数の子…1切れ
 - えびの養老煮…4尾 ●焼き穴子…適宜 ●錦糸卵…少々
 - 貝割れ大根…少々
- [すし飯] ●米…2カップ ●水…2カップ
[合わせ酢] ④(●酢…1/4カップ ●砂糖…大さじ1と1/2 ●塩…小さじ1弱)

- 作り方**
- ①米をとぎ、分量の水を加えて約30分以上おいた後、普通に炊く。
 - ②④を鍋に入れ、ひと煮立ちさせて砂糖を溶かしておく。
 - ③ご飯が炊け5分程度蒸らし、②の合わせ酢をまわしかけてさっくりと混ぜる。人肌くらいに冷めるまでそのままおいておく。
 - ④煮しめの具は、マッチ棒くらいの細さに切る。れんこんの旨煮は、飾り用をとっておき、残りは薄いいちょう形に切る。かまぼこは短冊状に切り、飾り用を残しておく。
 - ⑤数の子は小さくちぎる。えびは2cm長さに、焼き穴子は電子レンジで温めてひとくち大のそぎ切りにする。
 - ⑥卵を溶きほぐし、うす焼きして錦糸卵にする。
 - ⑦③のすし飯に、飾り用を除いた④の具を加えて混ぜる。
 - ⑧⑦を器に盛り付け、⑥の錦糸卵を散らす。飾りに残しておいたれんこんとかまぼこ、⑤の数の子とえびを彩りよく飾る。半分に切った貝割れ大根を飾る。



おせち料理の煮しめなら何でもOKです。



金目鯛の煮つけ
一人あたり:242Kcal、塩分1.7g

- 材料(4人分)**
- 金目鯛…4切れ
 - ゴボウ…160g
 - 生姜…1片
 - ホウレン草…1束
- ④(●しょうゆ…大さじ2と1/2 ●酒…2/3カップ ●砂糖…大さじ2 ●みりん…大さじ2)



- 作り方**
- ①ゴボウはたわしでよくこすり、汚れを落として乱切りにする。酢水(分量外)に漬けてアクを抜き、下ゆでして水気を切っておく。
 - ②生姜は薄切りに切る、ホウレン草は固めにゆでて長さ4cmに切る。
 - ③鍋にゴボウ、調味料④を加えて強火にかける。煮立ったら金目鯛を並べ入れ、②の生姜を加えて落としぶたをする。煮汁が減ってきたら中火にし、煮汁をかけながら煮る。
 - ④③の煮上がり際に、①のホウレン草を加えて煮汁をからめ、器に盛りつける。

新しい年に初めて口にする料理だからこそ、大切に頂きましょう。



| | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 人口と世帯数 (平成24年12月1日現在) | 38,724人 (前月比27人増) | 19,211人 (前月比15人増) | 19,513人 (前月比12人増) | 14,944世帯 (前月比28世帯増) |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|

※7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。